

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成24年11月1日(木) 4校時

児 童 5年2組 男20名 女20名 計40名

指導者 堤 栄美子

研究課題

自分の考えや言葉を大切にし、生き生きと表現できる児童の育成

課題設定の理由

自分の考えや気持ちを相手に伝えるためには、話す・書くなど様々な方法がある。中でも書く活動に対して苦手意識をもつ児童が多い。児童の日常の様子を見ていると苦手な理由には、どのように表現すればよいのか書き方や構成が分からないこと、語彙が少なく言葉に詰まってしまうことなどが挙げられる。そのため、今年度は児童が書くことを楽しみながら、様々な文章の書き方に触れ、自分で文種や言葉を選びながら生き生きと表現できるような姿を目指していく。

1 単元名 わたしたちの「図書館改造」提案 (光村図書 5年)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、学習に対して前向きな児童が多く、課題を解決できるまでひたむきに取り組む様子が日頃から見られる。また、新しい学習事項に対しての関心が高く、単元ごとにどんな学習をするのか期待をもって取り組んでいる。しかし、文章の読解に困難がある児童や文字を書くことに抵抗がある児童など、今まで身に付けてきた学習に大きな差があることも現状である。また、よい考えをもっていても適切に言葉に表して伝えることができなかつたり、文章を書くときに言葉に詰まってしまうたりと自信をもてない児童もいる。

そこで、本単元では、自分なりの考えを確実にもち、構成や表現を工夫して書くことで、自分の考えを分かりやすく、明確に相手に伝える方法を学んでいく。この活動を通して、考えを伝えることよきさに気付かせ、自信をもたせていくことを目指していきたいと考える。

(2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、学習指導要領第5学年及び第6学年の「B 書くこと」の内容にある「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「イ 自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果を考えること。」である。

本単元『わたしたちの「図書館改造」提案』では、児童にとって日常の読書活動や調べ活動に欠かせない学校図書館の現状に焦点を当て、もっと多くの人に図書館を利用してもらうために課題を確かめ、必要な情報を収集し、課題を改善するためのアイデアをまとめて提案書を書いていく。児童にとっては、書く目的がはっきりしており、情報も収集しやすいことから、自分の考えをもちやすく必要感がある題材と考える。さらに、提案書という新しい文種や書き方を学ぶことで、これからの学級活動や委員会活動に大いに活用することができ、「自分の考えを書いて伝える」手段がさらに広がると考える。

(3) 指導観

本単元では、課題について調べ、意見を記述した文を提案書の形式で書くという言語活動を行う。

第一次では、教科書の提案書の例を基にして、自分たちも「よりよい学校・学級にするために現状から課題について調べ、自分の考えを提案しよう。」という単元を貫く言語活動や学習計画を確認する。その際に、目的意識をもって最後まで書き進められるように、学習に向かう意欲を高める工夫をしていきたい。

第二次では、まずは、提案書の形式を学び、自分の考えを分かりやすく相手に伝えるための必要な情報収集の仕方や整理の仕方、構成について学習し、実際に提案書を書くための準備を行う。その後、学習したことを生かし、児童それぞれが題材を選び、提案書を書いていく。その際に、自分だけで課題を見付けることが困難な児童もいるため、学級で話し合いの場をもち、みんなで考えを出し合う時間を設定していきたい。

第三次では、出来上がった提案書を学級で提案する活動を通して、自分の考えをみんなに伝えることの楽しさを味わわせていきたい。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○課題解決のために、現状を捉え、進んで情報を収集しながら提案書を書こうとする。

(2) 書く能力

◎目的に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理し、文章全体の構成の効果、表現の効果などを考えて書くことができる。 (書ア、イ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。 (言イ【キ】)

4 指導計画

(「書くこと」7時間)

次	時	学 習 内 容
一	1	・モデル文を読み、学習課題を設定すること。 ・提案書を書くための活動の流れを確かめること。
二	2	・モデル文を読み、提案書の構成を学ぶこと。
	3	・学級の課題を話し合い、確かめること。
	・	・提案内容を決めること。
	4	・情報を収集し、自分の考えをもつこと。
三	5	・収集した事柄をまとめ、自分の考えを明確にして提案書を書くこと。
	・	
	6 (本時)	
三	7	・提案書を発表し合い、それぞれの考えを交流すること。

5 本時の指導

(1) 目標

自分のアイデアが伝わるように、記述の仕方や表現の効果を考えて提案書を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)
導入 3分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分の考えをまとめて、提案書を書こう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時では、提案書の前半部分(問題点について)の記述を行ったことを想起させる。また、本時は後半部分(問題解決のための提案)を書いて提案書を完成させることを確認し、意欲を高めることができるようにする。 “よりよい学校・学級にするために自分の考えを提案する”という目的意識を再度確かめ、最後まで書く意欲が続くようにする。また、誰に向けて提案するのか目的意識をはっきりもつことができるようにする。
展開 39分	3 学習課題を解決する。 (1) 提案書の構成について確かめる。(1分) (2) 提案が伝わりやすい内容説明の工夫について学ぶ。(7分) (3) 記述や表現を意識しながら提案書を書く。(25分) (4) 書いた提案書をペアで交流し合う。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 提案書の構成を確かめたり、前時で書いてみての反省を發表したりして、書く際の注意点について学び合うようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【提案書の構成例】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○○○へ向けて提案 提案すること 名前 </div> <ol style="list-style-type: none"> 問題点 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現状説明 (2) 調べたことの結果 (3) 自分がどう変えたいか 問題解決のための提案 <ul style="list-style-type: none"> ・読み手が分かりやすい内容説明 ・提案の効果 <p>「～がよくなる」「きっと～ではないか」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px 0;"> ～が分かった その結果 ～ではないか 提案したい </div> <p>など、自分の考えを伝えるときに使う語尾や表現にも気を付けるようにする。</p> 問題点と提案内容がつながるように、自分の書いた文章を見返しながら書くことができるようにする。 <p>◇自分のアイデアが伝わるように、記述の仕方や表現の効果を考えて提案書を書くことができたか。(提案書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えを伝わりやすくするために説明の仕方を工夫しているか(読む人のことを考えて書いているか)」を読むときのポイントとし、互いの提案書を読み合い、意見を交流する。 付箋によかったところ、次への課題等を記入し、渡すようにする。
終末 3分	4 学習のまとめをする。 5 次時の学習について見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習を振り返り、一言感想を書いて發表することで次時への書く意欲を継続させるようにする。 次時は、提案書を完成させることを伝え、次時の学習への見通しをもたせるようにする。